



給食だより

令和7年 5月1日
杉戸みちのこ保育園

新年度が始まり、早くも1カ月が過ぎました。園では新生活に少しずつ慣れてきたようで、毎日子どもたちが遊ぶにぎやかな声が給食室まで響いてきます。5月は子どもの日や母の日といった特別なイベントがあります。子どもの日についてお子さんと一緒に学んでいきましょう。

子どもの日を祝う

子どもの日とは、「**子どもが元気に成長したことをお祝いする日**」です。祝日法によると「子どもの人格を重んじて幸福を願い、母親に感謝する日」とされ、子どもだけでなく、お母さんに感謝する日でもあります。また、端午の節句(たngoのせっく)をお祝いする日でもあります。

◎端午の節句



端午の節句は**毎年5月5日**で、男の子の誕生と健やかな成長を祝う日です。もともとは中国の風習で5月に病気が流行しやすかったことから「5月は悪月」と言われており、5月5日は5が重なるため「悪月の悪日」とも呼ばれていました。これを避けるために季節ごとの旬の食べ物を食べ生命力をもらい、その力で**邪気を祓う目的**で「**五節句**」という行事が行われました。こいのぼりや五月人形などを飾り、柏餅や筍・ぶりを食べ、子どもの健やかな成長を祈るのが一般的です。また、子どもの日にちなんで子どもが好きなメニューを入れた「お子様ランチ」を作ることもあるようです。園ではお子様ランチにひと工夫をして、ハンバーグに筍を加えて食感を楽しめるようにしました。

今日は何の日？



5月15日はヨーグルトの日です。

この日はブルガリア南部でヨーグルトの健康効果を広めた「イリヤ・メチニコフ博士」の誕生日です。その功績をたたえ明治乳業株式会社（現：株式会社明治）によって制定され、日本記念日協会にも認定されています。

園ではブルガリアヨーグルトを使ったパウンドケーキをおやつとして提供します。楽しみにしててくださいね。

～食育活動～

今年度初めての食育活動は、らいおん組さんが5/14(水)にそら豆のさや剥きを行います。そら豆に触れたことのないお子さんも多いかと思います。楽しんで行いましょう！剥いたそら豆はおやつにおにぎりとして提供します。

